

＼ DPFマフラー / トラブル解決



◆DPF (Diesel Particulate Filter) マフラーとは？

ディーゼルエンジン車における排気ガスに含まれるPM (Particulate Matter) ススを捕集し、手動・自動的にPM (媒) を燃焼 (DPF再生) フィルターで補修する装置です。

DPF 各社呼称	
日野	D P R
イソズ	D P D
ふそう	D P F
U D	UDPC

◆なぜDPFマフラーは詰まるの？

- ①機能部品の故障が原因で、PM (媒) が付着し、燃焼できず蓄積します。
- ②エンジンオイルに含まれる金属系添加剤の燃えカスが、DPF内で燃焼しきれず、フィルター (ハニカム部) に堆積し閉塞をします。これがアッシュと呼ばれる、ガンコな堆積物です。
- ③インジェクターから燃料 (軽油) が噴射され、不完全燃焼した煤 (すす) がたまり、再生燃焼をかけます。その煤が燃やされる事により灰になります。その煤の燃え尽きた灰が徐々にフィルター部 (目の細かなハニカム) に溜まっていき、固着し目詰まりを起こします。

洗浄効果

DPF (ディーゼル パティキュレート フィルター) マフラーを洗浄することで、フィルター部の細長い筒の穴に詰まった煤やエンジンオイルの燃カスのアッシュを取り除けます。快適な走行とエンジントラブル防止に役立ちます。

- ・エンジン故障防止 (修理費削減)
- ・燃費向上
- ・燃焼時間の改善

＼ インジェクター / トラブル解決



◆エンジン燃焼室内部を徹底洗浄

ディーゼルプロは、ディーゼル車のフューエルライン・インジェクターを非分解で洗浄し、バルブ・ピストン・燃焼室に付着したカーボンを除去する整備機器です。インジェクタートラブルなどの不具合が発生する前に計画的な予防整備を行うことで車両稼働率低下を抑制し、部品交換などの修理コストが大幅に削減できます。最新の共通レール式高圧燃料噴射にも完全対応しており、カーボンが原因となるインジェクターやDPD、DPFの不調の改善に効果を発揮します。自社整備工場を持つ物流企業様には運行コスト削減として専業工場様にはエンジン内部洗浄という新たな整備により他社との差別化が図れる整備機器です。

◆インジェクターを洗浄する必要性

ディーゼルエンジンのインジェクターは、常に燃焼室内で高温高圧の燃焼にさらされるため、長期間の使用によってインジェクターの先端部 (ノズル) に付着物が堆積されてしまいます。こういった燃焼による発生したカーボンなどの付着物はインジェクターの噴射量を低下させてしまい、エンジンのパワーダウンやアイドリング不調などに繋がります。長期間使用したインジェクターの交換などの整備費用は高額で、場合によっては一台当たり30万～80万円程、掛かってしまう場合もあります。

洗浄効果

- ・エンジンの出力不足や黒煙の減少
- ・故障整備コストや燃料コストを低減
- ・車両稼働率の低下を抑制
- ・簡単作業で車両稼働をサポート
- ・新車時のようなエンジンに生まれ変わる

洗浄する必要性とメリット

トラックの故障を防ぐためには、サプライポンプや共通レールインジェクター、バルブ、ピストン、燃焼室など、カーボンが蓄積したエンジンの内部を定期的に洗浄することが大切です。しかし、ディーラーにトラックを持ち込むとなると、トラックを預けている期間、配車の調整に決して少なくはない時間を割かなければなりません。また、ディーラーではエンジンやDPF、インジェクターなど部品の交換を勧められるケースが多く、交換した場合、数十万円もの費用がかかります。ディーラーへのトラックの持ち込みは、時間にしても費用にしても、多大なコストが発生する可能性が高いです。

そこで出張洗浄サービスを使い、定期的にエンジン内を徹底的に洗浄・メンテナンスを実施すれば、インジェクターの故障を減少させ、寿命も大幅に伸ばすことが期待できます。コストと手間の削減に大きく役立ちます。

お気軽にご相談ください



有限会社コトブキ運輸 〒490-1435 愛知県海部郡飛鳥村大字梅之郷字中梅59番地47号

TEL. 0567-55-3460 FAX. 0567-55-3461